

クリスマス・ドロップ

クリスマス・ドロップ作戦（*Operation Christmas Drop*）は、1952年に始まったアメリカ空軍の空輸作戦・訓練で、アメリカ国防総省の完全に機能している任務で最も長く実行されており、世界で最も長く実行されている人道支援のための空輸活動となっています。グアムの地域社会の支援を受けて、主にアンダーソン空軍基地と横田基地から実施され、ミクロネシアを作戦の対象地域としている。日本の航空自衛隊も「ミクロネシア連邦等における人道支援・災害救援共同訓練」として参加しています。

グアムサンライズRCを中心に、東京たまがわRC、龍ヶ崎中央RC（RID2820）、苫小牧東RC（RID2510）の4クラブが合同奉仕活動として、クリスマス・ドロップを支援しています。

